

Q9. 入社して何年目ですか。

今年で、16年目になります。

Q10. どのようなお仕事をされていますか。

プロユース企画部に所属しており、業者の工事を伴うようなお庭の空間の製品、その企画から商品のプロモーションまで、お客様のところに届けるまでの間の部分を一連で担わせて頂いています。

Q11. 商品企画はどのようなことを意識して考えていますか。

2つのポイントがあると思っています。1つはお客様に求められるものでないといけない。やはりお客様の生活スタイルや趣味思考にどれだけ合うかといったところは、意識しなければならないポイントだと思います。もう一方で、うちだからこそできる商品やサービスをどこまでそこに折り込み、織り混ぜてお客様の元にお届けできるか。そういったところは意識しているポイントですね。

Q12. お仕事の中で一番大切にしていることは何ですか。

「自分の仕事の先には誰かがいる」というところは、すごく大事にしています。自分の仕事をやっていくと突き詰めてしまい、周りが見えなくなってどうしても自己満足の世界に陥りがちになるんです。でも自分達がこの仕事をやっているその先には、社内の人間もいる、その先にはお客様もいらっしゃる、またその先には世界中のお客様や今後お客様となる方々が待っているんだと常に意識するようにしています。その方々にとって今の自分の行動は間違っていないか、というのは常に見直すようにしています。

Q13. これまで担当された施工事例の中で特に記憶に残るものはありますか。

直近の事例で言いますと、タカショーの中での施工例コンテストを年一回行っているのですが、そこで昨年金賞になった現場事例が一番印象に残っています。理由として私が昔、商品開発に携わった製品が入っていることもあります。また、自社のコンテストの中での大賞も取っていますし、実は一般のコンテストであるキッズデザイン賞の大賞にも選ばれています。自社の中でも評価され、世の中的にも大賞という形で評価して頂いて、尚且つそのユーザー様にも満足頂いている。本当に皆さんにとって幸せな、有効な空間になっているというのは僕としてはありがたいですし、記憶に残る現場になったと思っています。

Q14. Iターン就職を決める時に決断材料となったものはありますか。

私はあまり働く場所が何処というのは強く意識してないです。自分の経験になるとか成長につながる場所であれば、何処でもいいと思っています。私は出身が広島なのですが、その後大学で長崎に行っています。そこから和歌山に移ったのですが、何処も行ったことのない場所だったんです。そういう意味では、今まで経験していないことが経験できる地だということもありましたし、そこでの生活で自分をどこまで高められるかなと、すごくワクワクしてやって来たというのは思い出しますね。

Q15. 地元に戻りたいと思ったことはありますか

はい、たくさんございます。やはり 16 年も仕事をしていると、いろんなことがありますし、周りの環境も変化してくるものなので、絶対帰りたくないかと言ったら、そんなことはないです。けれど、その時その時の選択ですね。いろんな選択肢がある中で、選択を積み重ねた結果、今があるのかなと思います。

Q16. 就職活動する上でのアドバイスをいただけますか。

私の就活は正直あまりうまくいなくて、初めて受けた会社がトントン拍子に最終まで行って、これは受かったと思ったのですが見事に落とされると、そこからもう一回リスタートみたいな形でした。たまたまうちの会社を見つけて、そこから縁があって。

就活は縁なのかなと少し思うところがありまして、いくら優れた方でもその会社のタイミングによっては、どうしてもそぐわない時というのが出てきてしまうんです。私も最近、採用に携わったりするのですが、こういう人材が欲しいというタイミングがやはり有るので。私自身が就活生だった時にアドバイスしたい言葉とすれば、「それは仕方ないよ、タイミングが悪かったんだよ」と。自分自身のここが悪いとか、どうしても思いがちですが、それだけの要素ではないと伝えてあげたいと思います。あとは気持ちの持ち様かなと思います。「私はこの会社で働きたいんだ」と言うのに、あまり難しい言葉をこねくり回さずにシンプルに伝えて頂ける方が取る側の気持ちとしてはすごく伝わってきますし、あとはポジティブな人の方が受け手側としてもすごく気持ちは良いものだと思います。なかなかうまくいかない時もあるかもしれませんが、積極的にポジティブな気持ちを持ち続けてやって頂くと結果は出てくると思います。